

信濃国分寺三重塔〈重要文化財〉

室町時代中期に建てられたと推定される、軒反りの強いすっきりした美しさをもつ、柿を模した銅板葺の塔です。塔の外部は和様・禅宗様の折衷様式ですが、内部は四天柱上の台輪、内・外陣の禅宗様話組など純禅宗様です。

棟札が5枚あり、「貞享乙丑天三月二日」「享保十一丙午天三月二十八日」「修葺延享五年辰三月七日」「幕替安永七戊戌天閏七月三日」「修葺文政二己卯歳閏四月吉祥日」の墨書があり、これらの棟札から塔の修理が行われてきたことがよくわかります。



信濃国分寺三重塔〈重要文化財〉



牛頭天王之祭文（市指定文化財）

牛頭天王之祭文は蘇民縁起について書かれたもので、上小地方では二番目に古い文書です。室町時代の文明12（1480）年、11月に書写されています。

内容は蘇民将来の子孫が災厄を免れたというもので、とくに、治病を重要視している点に特徴があります。

牛頭天王之祭文（部分）

「柳ノ札ヲ作テ蘇民将来之子孫也ト書テ」と蘇民将来符の由来が記されています。

信濃国分寺に伝来し、現在当館に寄託されています。

蘇民将来符（市指定民俗文化財）

蘇民信仰は中央アジアから伝来したといわれ、奈良時代以降に広く流布した民俗信仰で、全国各地に残存しています。

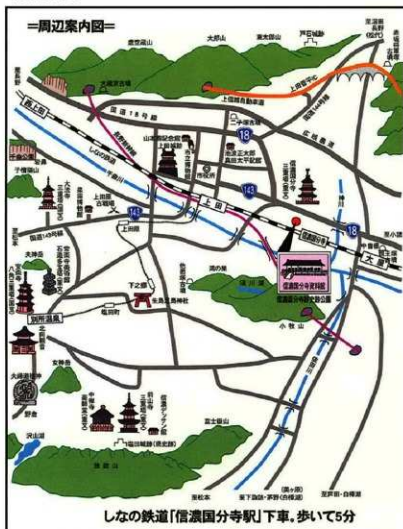
信濃国分寺の蘇民将来符は室町時代以降から作られたとみられ、除災招福を折って門戸にかけられます。

信濃国分寺資料館では毎年1月に、全国各地の蘇民将来符を展示した特別展を開催し、その図録「蘇民将来符—その信仰と伝承—」も頒布しています。



信濃国分寺で頒布される蘇民将来符

利用案内



- 開館時間** 午前8時30分から午後5時まで
(ただし、入館は午後4時30分まで)
- 休館日** 水曜日・祝日の翌日(水曜日にあたる日はその翌日も休館)
年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)

表紙写真 信濃国分寺資料館全景
裏表紙カット 八葉複弁蓮花文鏡瓦・均齊唐草文字瓦

—常設展示解説—

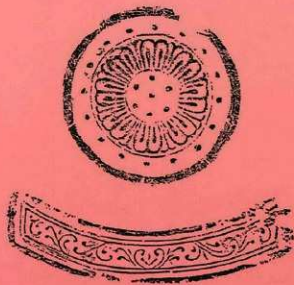
上田地方の古代文化

昭和56年11月1日初版発行
平成2年3月1日第2版発行
平成21年3月20日第3版発行

編集発行 上田市立信濃国分寺資料館

〒386-0016 長野県上田市国分1125番地
電話・FAX (0268) 27-8706
E-mail:kokubunji@city.ueda.nagano.jp
URL:http://museum.umic.ueda.nagano.jp/kokubunji/

印刷 中沢印刷株式会社



092.193

Sh 59